実験計画書

■実験の目的

・・・・・・・・として、●●●市として実験試験局を開設し、さらなる活用を図ることを目的とする。

なお、来年度以降も年一回程度実験を実施し、機器操作の習得を図るほか、臨時災害放送の有効性を検証していく予定。

■実験の概要

　１．ＸＸＸＸＸＸＸ防災訓練等における模擬的運用。

２．臨時災害放送局用設備を用いたアナウンス訓練。

３．臨時災害放送局の受信評価（聴取可能エリア調査）。

４．FM周波数帯における電波伝搬調査。

■希望する電波の諸元

　１．周波数等　　　　　　　200K F3E 77.1MHz ●●W (ERP●●.●W)

　２．空中線の型式及び利得　●型ダイポール空中線　●.●●dBd（●.●dBi）

　３．空中線の指向方向　　　●●●度及び●●●度

　４．空中線海抜高/地上高　 ●●.●m/●●.●m

　５．給電線長/損失　　　　 ●●●m/●.●dB

　６．送信機型式/出力　　　 XXXXXXXX / 定格●●W、低下後の種強く●●W

　７．無線設備系統図

適宜作成し、掲載。

８．送信機設置場所　ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ（地図を添付する）

■実験試験局の移動範囲及び常置場所

移動範囲　●●●●市内

　常置場所　●●県●●市●●　●●市役所内

■実験スケジュール及び希望する免許の有効期間

令和Ｎ年度　　　２０ＸＸ年●●月　開設運用実験

令和Ｎ＋１年度　２０ＸＸ年●●月　防災訓練に合わせた実験

令和Ｎ＋２年度　２０ＸＸ年●●月　新規配属者への開設運用実験

令和Ｎ＋３年度　２０ＸＸ年●●月　防災訓練に合わせた実験

令和Ｎ＋４年度　２０ＸＸ年●●月　防災訓練に合わせた実験

■実験試験局の運用について

　１．77.1MHzは臨時災害放送局用周波数のため、関東地域で災害が発生した場合には、実験試験局として運用を行なわない。

　２．77.1MHzは他の実験試験局も運用するため、関東総合通信局と調整を行なった日程以外では運用せず、運用を予定する際には必ず事前に関東総合通信局に相談する。（運用時以外は、電源と給電線は送信機と接続しない。）

　３．他の無線局から混信調査等のため試験電波の発射の要請があった場合には、速やかに調整の上、対応する。

■送信内容

防災訓練やその一環としての展示実演、当該設備の展開訓練など、電波伝搬試験で実際に電波を発射する場合の変調信号の内容については、無線局運用規則（昭25.11.30電波監理委員会規則第17号）の規定によるほか、以下のとおりとする。

１．防災訓練等で電波を発射する場合は、臨時災害放送設備にかかる伝搬実験の趣旨に鑑み、当該訓練等にかかる防災に関する内容の音声、著作権の問題がない音楽、または低周波発信器によるトーン信号の送出とする。

２．電波発射中は、30分ごとに、①呼出名称②伝搬実験中の旨を音声で送出する。

■無線従事者の配置

第3級陸上特殊無線技士以上の資格を有する者を選任・配置する。

なお、電波の質に影響を及ぼすこととなる技術操作が必要な場合は、第●級陸上無線技術士の資格を有する者が実施する。

以上